

三菱UFJフィナンシャル・グループ

MUFG通信

第7期(平成23年4月1日～平成24年3月31日)



Quality for You

確かなクオリティを、明日へ。世界へ。



MUFG

証券コード：8306

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

私から、平成23年度の業績および経営ビジョン・中期経営計画についてご説明いたします。



平成23年度の業績

平成23年度の連結当期純利益は、業績目標の9,000億円を上回る9,813億円となり、前年度比3,982億円の増益となりました。モルガン・スタンレーに関する一時的な利益(2,906億円)を除いても、前年度を上回る結果を残すことができませんでした。これは、国際部門や市場部門の収益が好調であったほか、与信関係費用が前年度に比べ改善したことや、前年度に大幅な赤字を計上した三菱UFJ証券ホールディングス・三菱UFJニコス・アコムが業績が抜本的な収益改善への取り組みにより揃って黒字に転換したことなどが要因です。

普通株式の配当につきましては、1株当たり期末配当6円、中間配当と合わせた年間配当は12円といたしました。

経営ビジョン・中期経営計画

MUFGは、この度、平成17年の発足時に制定した経営理念を経営ビジョンとして刷新するとともに、平成24年度から3年間の経営目標と戦略を定めた、新たな中期経営計画を策定しました。経営ビジョンでは、中長期的に目指す姿を「世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ」としました。新中期経営計画では、収益の安定的かつ持続的な拡大に努めるとともに、資本効率の向上に向けて経営管理

態勢を強化し、グローバルに競争力を有する財務基盤の構築を目指します。

まず、収益力の強化に向けては、強固な事業基盤を有する国内にしっかりと軸足を置きつつ、グローバルベースでの総合金融サービス力を一段と向上させていきます。国内では、提案力の向上や新商品・サービスの開発、グループ会社間の連携などを通じて、サービス力の強化を進めます。また、海外では、アジアなど新興国を中心に預金・貸出に加えてお客さまの商流をとらえたビジネスを強化するとともに、商業銀行業務をベースとした市場関連業務の強化などを進めていきます。以上の取り組みを通じ、顧客部門の営業純益を今後3年間で20%増加させることを目指します。

また、財務基盤の構築に向けては、連結ROE(リターン・オン・エクイティ)と連結当期純利益RORA(リターン・オン・リスク・アセット)を指標とした経営管理を実施します。資本効率を追求するとともにきめ細かなリスク・リターン運営を実行することで、本年度末に導入予定のバーゼルⅢ規制下における新たな競争環境においても、危機抵抗力のある頑強な資本基盤を構築していきます。

資本政策については、「自己資本の充実」「収益力強化に向けた資本の活用」とのバランスを取りながら、株主還元の一層の充実を目指していきます。

なお、経営ビジョンおよび中期経営計画の詳細は、本誌5～7ページの「クローズアップMUFG」をご覧ください。

MUFGは、新中期経営計画の着実な遂行を通じて企業価値を増大させ、株主の皆さまの期待や信頼にお応えしてまいります。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
取締役社長

永易克典

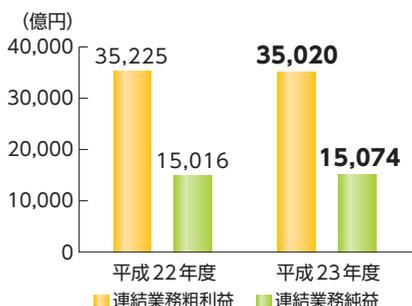
平成23年度の業績

✓ 決算のポイント

- 連結当期純利益は、モルガン・スタンレーの関連会社化に伴う利益や与信関係費用の改善などから、前年度比3,982億円増益の9,813億円
- 貸出金は、海外貸出が大幅に増加したことから、前年度末比4.4兆円増加。預金は、法人預金は減少したものの、個人預金が増加したことから、0.6兆円増加
- 連結自己資本比率は、前年度末比0.01ポイント上昇の14.91%

損益の状況

連結業務粗利益・連結業務純益



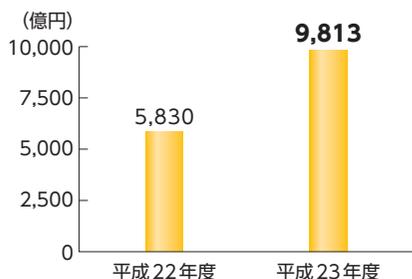
連結業務粗利益は、前年度比204億円減少の35,020億円となりました。国債などの債券売買益や国際部門の貸出関連収益が増加し、証券子会社のトレーディング収益も改善しました。一方、消費者金融子会社の貸出残高は減少し、モルガン・スタンレー優先株式の普通株式への転換に伴い優先株式配当がなくなりました。

営業費は、継続的な経費削減努力によって、263億円減少しました。この結果、**連結業務純益**は58億円増加の15,074億円となりました。

与信関係費用総額は、1,606億円改善し、1,934億円の費用となりました。株式等関係損益は315億円悪化しましたが、持分法による投資損益はモルガン・スタンレーを関連会社化したことに伴い3,661億円増加しました。その他の臨時損益は、利息返還損失費用が大きく減少したことなどにより2,542億円改善しました。

以上の結果、**連結当期純利益**は前年度比3,982億円増益の9,813億円と、業績目標の9,000億円を上回りました。

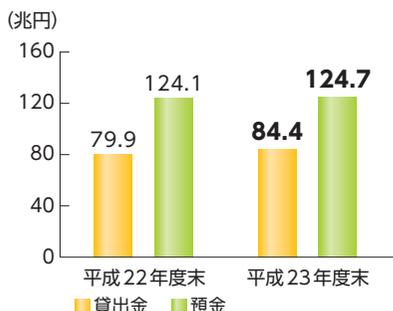
連結当期純利益



(注)業績説明に使用している計数は、各々単位未満を切り捨てて表示しています。従って、表中のある項目の計数と他の項目を加減計算した結果とが一致しないことや、説明文中の増減数値とグラフ・表中の計数を加減計算した結果とが一致しないことがあります。

貸出金・預金の状況

貸出金・預金

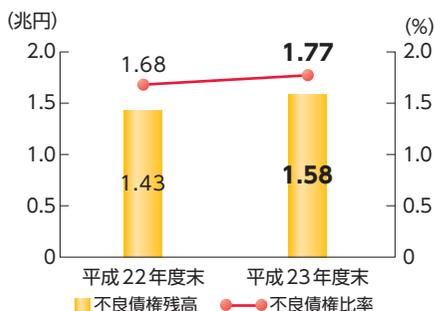


貸出金は、海外貸出および日本政府向け貸出の増加を主因に、前年度末比4.4兆円増加の84.4兆円となりました。

預金は、国内法人預金は減少したものの、個人預金が増加したことなどから、0.6兆円増加の124.7兆円となりました。

不良債権残高・比率の状況

不良債権残高・比率

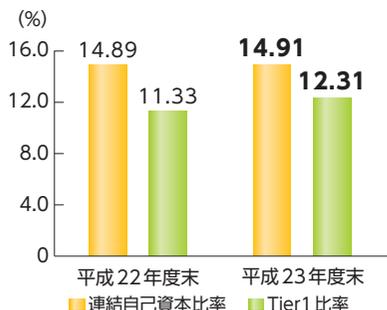


不良債権残高*は、前年度末比0.1兆円増加の1.58兆円となりました。**不良債権比率***は、0.09ポイント上昇の1.77%となりましたが、引き続き低水準を維持しています。

*三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行の2行合算
+信託勘定

連結自己資本比率・Tier1比率の状況

連結自己資本比率・Tier1比率



連結自己資本比率*は、前年度末比0.01ポイント上昇し14.91%となりました。**Tier1比率****は、0.97ポイント上昇し12.31%となりました。

* 自己資本比率 = 自己資本 ÷ リスク・アセット

**Tier1比率 = 中核的な自己資本 (資本金・剰余金など) ÷ リスク・アセット

平成23年度の業績

(単位：億円)

損益の状況(連結)	平成22年度	平成23年度
連結業務粗利益(信託勘定償却前)	35,225	35,020
うち資金利益	20,200	18,405
うち信託報酬+役員取引等利益	10,798	10,611
うち特定取引利益+その他業務利益	4,226	6,002
営業費	20,208	19,945
連結業務純益 (一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	15,016	15,074
臨時損益(△は費用)	△ 7,675	△ 562
うち与信関係費用	△ 3,366	△ 2,782
うち株式等関係損益	△ 571	△ 886
うち持分法による投資損益	113	3,775
うちその他の臨時損益	△ 3,851	△ 1,308
経常利益	6,464	14,719
特別損益(△は損失)	△ 68	△ 238
法人税等合計	1,754	3,764
少数株主利益(△は損失)	△ 1,190	902
連結当期純利益	5,830	9,813
与信関係費用総額(△は費用) <small>与信関係費用(信託勘定)+一般貸倒引当金繰入額+与信関係費用 (臨時損益内)+償却債権取立益+貸倒引当金戻入益 +偶発損失引当金戻入益(与信関連)</small>	△ 3,541	△ 1,934

(単位：億円)

資産・負債の状況(連結)	平成22年度末	平成23年度末
資産の部	2,062,270	2,188,616
うち貸出金	799,950	844,926
うち有価証券	710,236	782,647
負債の部	1,954,126	2,071,858
うち預金	1,241,443	1,247,892
純資産の部	108,144	116,757

(単位：億円)

連結自己資本比率の状況(第一基準)	平成22年度末	平成23年度末
自己資本比率	14.89%	14.91%
Tier1 比率	11.33%	12.31%
自己資本	130,808	127,425
Tier1	99,533	105,222
リスク・アセット	878,049	854,565

クローズアップMUFG

平成24年4月にスタートした、中期経営計画についてご説明します。

経営ビジョン

新中期経営計画のスタートにあたり、グループが「中長期的にめざす姿」などを経営ビジョンとして決めました。

『中長期的にめざす姿』

世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ
-Be the world's most trusted financial group-

1. お客様の期待を超えるクオリティを、グループ全員の力で
2. お客様・社会を支え続ける、揺るぎない存在に
3. 世界に選ばれる、アジアを代表する金融グループへ

中期経営計画

平成24年度から3年間の中期経営計画について、財務目標、戦略業務、経営管理・基盤強化の順にご説明します。

1. 財務目標

顧客部門を中心に、きめ細かなリスク・リターン運営を図り、収益の安定的かつ持続的な拡大に努めるとともに、資本効率の向上に向けた経営管理態勢を強化し、グローバルに競争力を有する財務基盤の構築を目指します。

		平成23年度 実績	平成26年度 目標
成長性	連結営業純益(顧客部門)	10,524億円	平成23年度比約20%増
収益性	連結経費率	56.9%	50%台後半
	(2行合算)	50.4%	50%台前半
	連結当期純利益RORA*1*2*3	0.8%	0.9%程度
	連結ROE*2*4	7.7%	8%程度
健全性	普通株式等Tier1比率*3	9%程度	9.5%以上

*1 Return on Risk Weighted Assetsの略で、金融機関が取っているリスクに対して利益をどれだけ上げているのかを示す指標

*2 平成23年度実績はモルガン・スタンレーの持分法適用関連会社化に伴う負ののれんを除く

*3 バゼルⅢベース、調整項目を全額控除

*4 Return on Equityの略で、企業が株主資本をどれだけ有効に活用して利益を上げているのかを示す指標

2. 戦略業務

「グローバルベースでの総合金融力の拡充」「再生・再創造に取り組む本邦市場への貢献」を基本方針とし、以下の5つの業務を戦略業務と位置づけ、推進していきます。

1 個人のお客さまへの総合金融サービス業務

お客さまのライフステージに応じた最適なサービスを提供するため、ネットチャネルにおけるサービスを拡充し、お客さまの利便性向上に取り組めます。また、営業担当者・コールセンターなどの業務プロセスを変革し、ご相談・ご提案の機会を拡大するとともに、グループ連携を強化し、お客さまの資産形成等をサポートします。



2 法人のお客さまへのMUFUGソリューション業務

グループ連携を強化することで、大企業のお客さまへの総合金融サービス力を拡充します。中堅企業のお客さまには、本部専担者を増強するなどし、経営課題への対応力を強化します。また、三菱東京UFJ銀行の法人・個人のお取引窓口を一部段階的に統合し、中小企業とその経営者の皆さまのニーズにきめ細かく対応します。



3 アジア等新興国における預貸、決済および市場関連業務

営業活動を支援する本部組織をアジア地域で拡充し、グループ連携を強化することで、地場企業のお客さま、金融機関との取引を拡大していきます。中南米や中近東・ロシア等の新興国では、拠点体制の整備と、グループノウハウの活用により、それぞれの国・地域の特性に応じた業務戦略を推進します。また、預金や決済、貿易金融など、お客さまの商流をとらえた業務を強化していきます。



4 グローバルベースでのCIB*1業務

商業銀行の顧客基盤を活かして、投資銀行サービスや、貸出・社債取引に付随する金利・為替の取引を拡大させていきます。また、プロジェクトファイナンスや、協調融資などの取引を拡充させていきます。

5 国内・海外での資産運用・管理業務

年金業務、投資信託では、営業体制の強化や商品開発、グループ連携の強化などを進めていきます。また、海外での出資・提携戦略などを通じ、グローバルに競争力のある運用機関を目指すとともに、外国籍投信管理業務の拡大を図ります。

*1 預金・貸出などの通常の法人向け銀行業務とM&Aアドバイスなどの投資銀行業務を一体的にとらえた企業価値向上提案業務の総称です。

3. 経営管理・基盤強化

「グローバルでトップクラスの資本力・リスク管理能力の発揮」を目指して、ガバナンス・リスク管理態勢を不断に強化、金融業界を取り巻く不確実性に備えるとともに、上記の事業展開に対して適切な経営管理を行っていきます。また、事務・システムインフラのグループ体系的な活用・運営を進めていきます。

1 グローバルベースでの経営管理態勢

グループレベルで地域経営管理に携わる組織を欧米で設置します。また、証券や市場業務の海外での各種リスク管理態勢を強化します。

2 グループレベルでの統合的リスク管理

資本の効率的活用を推進する社内制度を見直すなど、経営管理の枠組みを進化させていきます。また、リスク管理手法や経営情報システムを高度化していきます。

3 事務・システムインフラのグループ共同化・効率化

グループ各社のシステムなどのインフラやノウハウの共同化を進めていきます。また、事務の効率化・削減も推進していきます。

1 Eco通帳、Eco通知、三菱東京UFJ銀行で取り扱い開始

平成24年5月、三菱東京UFJ銀行は、Eco通帳、Eco通知の取り扱いを開始しました。Eco通帳は、紙の通帳や照合表を発行せず、代わりにいつでもどこでもインターネットで最長25ヵ月分の入出金明細をご確認いただけるサービスです。通帳を記帳する手間や紛失の心配がないことに加え、入出金明細ごとにメモ登録ができるため家計管理などにもご活用いただけます。

また、Eco通知は、定期預金期日のお知らせなどの通知物をインターネットでご確認いただくサービスです。新しい通知物があるとご登録のアドレスにメールが届き、読み落としの心配がなくなります。

三菱東京UFJ銀行では、これからもお客さまの利便性向上や紙資源の節約による環境保全に努めていきます。

入出金明細照会(Eco通帳照会)

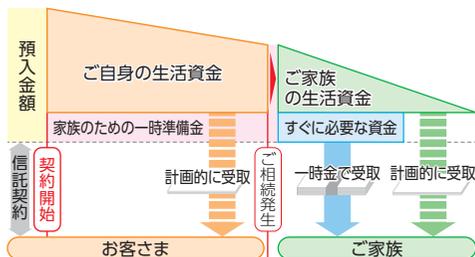
日付	種別/摘要内容	支払い金額	預かり金額	取引残高	メモ (最大500文字)
2000年5月1日	カード	100,000円		518,845円	
2000年5月1日	デスウレウ	210円		518,635円	
2000年7月1日	カード		50,000円	568,635円	
2000年8月2日	カード	10,000円		558,635円	金費
2000年9月5日	口座振替	〇〇クレジット	100,000円	458,635円	
2000年10月5日	カード	20,000円		438,635円	光熱費
2000年11月5日	ATM	5,000円		433,635円	
2000年11月5日	カード	50,000円		383,635円	

2 「ずっと安心信託」、三菱UFJ信託銀行で取り扱い開始

平成24年3月、三菱UFJ信託銀行は、お客さまご自身とご家族の資金を守り、計画的にお受け取りいただける新商品「ずっと安心信託」の取り扱いを開始しました。

本商品は、ご自身のリタイア後の人生設計やご家族への資産承継にお役立ていただけるもので、3つの安心機能(①お客さまご自身の生活に合わせて、生活資金を「計画的に」受け取れる、②万一の際に必要な資金をご家族が「すぐに」受け取れる、③相続後の生活資金をご家族が「継続して」受け取れる)がセットになったものです。これらの安心機能はお客さまのニーズに合わせて自由に組み合わせることができます。

三菱UFJ信託銀行では、資産管理や相続など信託銀行ならではのノウハウを結集し、今後も社会のニーズにお応えできる商品を提供していきます。



3

ユニオンバンク、 米国西海岸の地方銀行の買収合意を発表

平成24年3月、MUFGグループのユニオンバンク(以下、UB)は、カリフォルニア州サンタバーバラ近郊を拠点とするパシフィック・キャピタル・バンコープ(以下、PCBC)を約1,200億円を買収することで合意し、正式契約に調印したことを発表しました。

PCBCは、米国NASDAQ上場の持株会社で、傘下にはサンタ・バーバラ・バンク・アンド・トラスト(以下、同行)があります。サンタバーバラは米国西海岸の富裕層が多い地域です。同行はこの地域で50年以上の歴史があり、店舗数47、総資産約4,700億円と、充実した店舗網と顧客基盤を持っています。

UBは、PCBCの買収によって同地域のネットワークを強化し、住宅ローンや資産運用サービスの提供を通じて、収益の拡大を目指していきます。



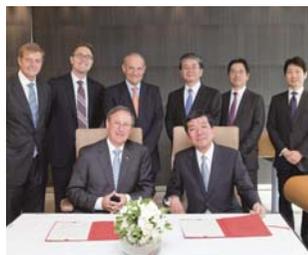
4

三菱UFJ信託銀行、 オーストラリアの資産運用会社を関連会社に

三菱UFJ信託銀行は、平成23年12月にオーストラリア最大級の総合金融グループAMP Limitedの資産運用子会社AMP キャピタル・ホールディングス(以下、AMP キャピタル)と資本・業務提携契約を締結しました。平成24年3月には、同社株式の取得(15%)と非常勤取締役の派遣により、同社を関連会社(持分法適用関連会社)としました。

AMP キャピタルは、オーストラリアはもとよりグローバルなインフラ投資での運用に定評のある会社で、6月には同社のノウハウと実績を活用した「三菱UFJ/AMPグローバル・インフラ債券ファンド」を立ち上げ、MUFGグループ各社で個人のお客さま向けに販売を開始しました。

三菱UFJ信託銀行とAMP キャピタルは、今後も共同で商品開発を行い、お客さまの多様化する運用ニーズにお応えしていきます。



● 寄付金贈呈式の開催

MUFGでは、平成24年の株主優待制度に、オリジナルグッズに代えて『MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金』への寄付を選択できるコースを導入しました。このコースには今回約6万人の株主さまが応募され、寄付金総額は1億150万円となりました。ご応募いただいた株主さまには厚く御礼申し上げます。

平成24年3月には、寄付金贈呈式を開催し、永易社長から公益社団法人日本ユネスコ協会連盟の松田会長に寄付金(目録)が手渡されました。



● 「MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金」：福島県の中学校吹奏楽部への演奏指導会を開催

平成24年3月、三菱東京UFJ銀行は、財団法人日本フィルハーモニー交響楽団とともに、福島県内の被災した中学校4校の吹奏楽部員に対し、4日間にわたって演奏指導会を開催しました。楽団メンバーによる演奏指導後には各校の吹奏楽部員と交響楽団との合同演奏会を開催。吹奏楽部員からは、久しぶりに合奏ができた喜びの声が寄せられました。

また、演奏指導会の開催に合わせて、三菱東京UFJ銀行の行員ボランティアによる花壇の整備も行われました。今後も継続的に、被災地の支援に取り組んでいきます。



● TOMODACHI Initiative への参画

平成24年4月、MUFGは米国政府等が主導するTOMODACHI Initiativeに参画しました。これは、東日本大震災からの日本の復興を支援するとともに、日米間の文化的・経済的な結び付きを強化し、友好を深める取り組みで、両国の若い世代の育成に投資する官民パートナーシップです。MUFGは、趣旨に賛同し、被災地の中学生・高校生・教員を中心に米国の学生・教員と相互交流を行う「日米相互交流プログラム」を立ち上げ、寄付も行いました。



● 「第2回ESD国際交流プログラム」を実施

平成24年3月、三菱東京UFJ銀行は、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟と共同で、第2回ESD国際交流プログラムを実施しました。これは、将来にわたって持続可能な社会を構築するために必要な「ESD(持続発展教育)」の普及を目的とした活動です。

今回は全国から10名の高校生が参加。ドイツのユネスコスクール*やフランスのユネスコ本部で、環境問題などへの取り組みについてディスカッションを行ったほか、三菱東京UFJ銀行パリ支店を見学しました。



*ユネスコの理念に基づき平和や国際的な連携を実践する学校。平成24年4月現在、日本では397校が認定されています。

● 卒業記念サッカー大会「第5回MUFGカップ」開催

MUFGは、平成24年1月から3月にかけて、小学校6年生を対象にした卒業記念サッカー大会を東京・愛知・大阪で開催しました。スポーツを通じて、仲間との絆、周囲の人々への感謝などを学ぶ機会を提供しています。



MUFGグループ各社から社員ボランティアも参加し、大会をサポートしました。

三菱東京UFJ銀行(中国)有限公司



中国 成都

成都是、豊饒な四川盆地に位置する四川省の省都です。古くは、秦の時代に都江堰とこうえんという灌漑施設が造られ、大穀倉地帯として発展しました。その後、三国時代には蜀の都となりました。宋代以降は商業も発展し、現在では中国南西部における貿易、金融、交通などの中心地となっています。特に、内陸西部地区を経済成長軌道に乗せるために中国政府が平成12年に「西部大開発」を始めて以降、成都の経済は急速に発展しており、ここ数年は連続して2桁の成長率を記録しています。

一方で、省内には仏教の聖地である峨眉山がびさんや、道教の聖地である青城山せいじょうざんといった宗教の聖地があり、歴史と文化の都市でもあります。

せいと
成都



拠点紹介

成都支店スタッフ



成都支店は、平成7年に成都駐在員事務所としてスタートし、平成22年3月に同地域では日本の銀行初の支店となりました。現在は、駐在員2名、現地行員が46名勤務し、四川や重慶の日系を中心としたお客さまに、融資、預金、為替を中心とした金融サービスを提供しています。

急速に発展している成都には、近年、機械産業や電子産業を中心に世界トップクラスの企業の進出が進んでおり、当支店に求められるサービスはますます高度化・多様化しています。今後も同地域で積極的にお客さまのニーズにお応えしていきます。



パンダ

パンダの80%以上は四川省に生息しており、ジャイアントパンダ保護区は世界遺産に登録されています。



楽山大仏

弥勒菩薩をかたどって彫られた巨大な石仏です。高さは約71メートルと東大寺の大仏の5倍あり、近隣にある峨眉山とともに、世界遺産に登録されています。

漢昭烈廟、武侯祠と錦里

三国志でおなじみの、劉備玄徳の陵墓である「漢昭烈廟」と、諸葛孔明を祭る「武侯祠」は同じ敷地内にあり、歴史ファンには外せないスポットとなっています。また、「武侯祠」の隣には、「錦里」という昔の建築を復元した街並みがあり、多くの旅行者が訪れています。



四川料理

四川料理は中国四大料理の一つとして日本でも良く知られています。麻辣マーラーと呼ばれる山椒の痺れる感覚と唐辛子の辛さが共存した独特の味で、味付けの種類も豊富です。



MUFGからのお知らせ

MUFGでは、日頃ご支援いただいている株主さまを対象に、下記のとおりセミナーを開催いたします。今回から、当社株式を長期に保有いただいている株主さまへの感謝として、ご応募いただいた株主さまのうち、当社株式を5年超保有*の株主さまの当選倍率を通常より2倍に優遇させていただきます。

また同時に、経済セミナーの様子を当社ホームページにて公開します。詳細は以下をご覧ください。

*中間期末日および期末日の株主名簿に連続11回以上記載

|| リンク先情報

当社ホームページ内『動画配信』(<http://www.mufig.jp/investors/movie/>)

|| ID

mufig

|| パスワード

201210

開催概要

募集対象者：平成24年3月末時点で当社株式をお持ちの株主さま(ご同伴は1名さままで可)

参加費：無料

① 経済セミナー(東京・大阪・名古屋)

日時 募集人数	【東京】東京都千代田区 平成24年10月4日(木) [午前の部] 10:30～12:00頃 [午後の部] 14:00～15:30頃	各回 300名
	【大阪】大阪府大阪市中央区 平成24年10月11日(木) [午前の部] 10:30～12:00頃 [午後の部] 14:00～15:30頃	各回 200名
	【名古屋】愛知県名古屋市中区 平成24年10月10日(水) [午前の部] 10:30～12:00頃 [午後の部] 14:00～15:30頃	各回 150名
場所	三菱東京UFJ銀行内ホール	
内容	テーマ：「内外の経済・金融を展望する」(仮題) 講師：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 執行役員調査本部長 五十嵐 敬喜 氏	

② 為替相場セミナー&ディーリングルーム見学会(東京)

日時 募集人数	第1回 平成24年10月2日(火) 13:30～16:00頃 第2回 平成24年10月3日(水) 13:30～16:00頃	各回100名
場所	三菱東京UFJ銀行内会議室およびディーリングルーム(東京都千代田区)	
内容	第一部：為替相場セミナー(三菱東京UFJ銀行のアナリストが解説いたします) 第二部：ディーリングルーム見学会(ディーラーが取引を行う現場をご覧ください)	

応募要領

応募方法：同封の「MUFG株主セミナー参加申込書」に必要事項をご記入の上、ご投函ください。

締め切り 平成24年7月27日(金)消印有効

ご記入要領

1. ご希望のセミナーおよび開催日時を選択してください(いずれか一つのセミナーをお選びください)。
2. 株主さまのご住所、お名前(ふりがなを含む)、お電話番号、株主番号(「配当金領収証」または「配当金計算書」の住所氏名欄の下段8桁の番号)をご記入ください。
3. ご同伴者さまがいらっしゃる場合は、その方のご住所、お名前(ふりがなを含む)もご記入ください。
4. 個人情報保護シールをはがし、折り曲げてしっかりと貼り付けてご投函ください。

抽選の上、当選された株主さまには平成24年9月上旬にご招待状をお送りいたします。

◎ご注意◎

1. 当日の受付時刻および場所等の詳細につきましては、当選された株主さまのみにご案内いたします。
2. 開催場所までの往復の交通費は各自でご負担いただきます。
3. 応募時に必要事項の記入漏れがあった場合には、無効となる可能性がございます。
4. やむを得ない理由で中止や内容変更となる場合がございます。

お問い合わせ先：株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

MUFG株主倶楽部
専用デスク

0120-321-629

代表電話

03(3240)8111

受付時間：土・日・祝祭日を除く9:00～17:00

会社情報 / 株式情報

取締役・監査役（平成24年6月28日現在）

取締役会長 (代表取締役)	おきはら たかむね 沖原 隆宗	取締役	とよいずみ 俊郎 豊泉 俊郎	取締役*	あらき りゅうじ 荒木 隆司
取締役副会長 (代表取締役)	おかうち きんや 岡内 欣也	取締役	ひらの 信行 平野 信行	取締役*	あわたし 一弘 渡邊 一弘
取締役社長 (代表取締役)	ながやす かつりのり 永易 克典	取締役	てらおか 俊介 寺岡 俊介	取締役*	たかま 卓麻 大歳 卓麻
取締役副社長 (代表取締役)	たなか まさあき 田中 正明	取締役	わかばやし たつお 若林 辰雄	常勤監査役	まへだ 哲男 前田 哲男
専務取締役 (代表取締役)	ゆうき たいへい 結城 泰平	取締役	あらか さぶろう 荒木 三郎	常勤監査役	ねもと 武彦 根本 武彦
専務取締役 (代表取締役)	はまかわ いちろう 浜川 一郎	取締役	のぐち ひるゆき 野口 裕幸	監査役**	たかすか 高須賀 祐 岡本 匡衛
常務取締役 (代表取締役)	かがわ あきひこ 加川 明彦	取締役	とくぬり 旨亮 徳成 旨亮	監査役**	いけだ やすし 池田 靖

* 荒木 隆司、渡邊 一弘、大歳 卓麻の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

** 高須賀 祐、岡本 匡衛、池田 靖の各氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

株式事務のご案内

定時株主総会基準日	3月31日	
定時株主総会	6月下旬	
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 / 中間配当金 9月30日	
公告掲載方法	当社の公告は電子公告により行っております。 電子公告掲載URL : http://www.mufg.jp/ ただし、やむを得ない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。	
上場証券取引所	東京、大阪、名古屋、ニューヨークの各証券取引所	
株式事務取扱場所	株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
	事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
	お問い合わせ先・ 郵便物送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話：0120-232-711 (通話料無料) (受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

■ 株式に関するお手続き

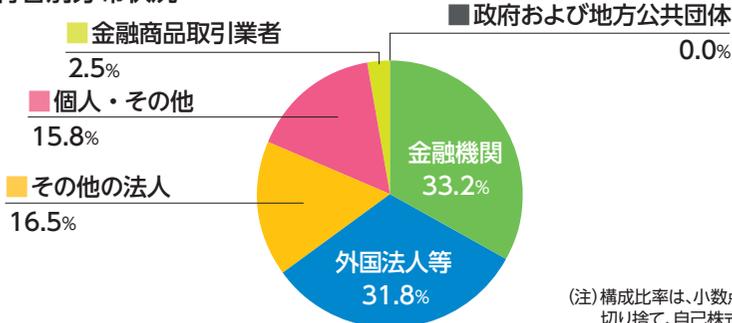
住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、買取請求その他各種お手続き	<ul style="list-style-type: none"> 証券会社の口座に当社株式が記録されている株主さま 口座を開設されている証券会社(口座管理機関)でお手続きいただけます。 特別口座に当社株式が記録されている株主さま 上記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ願います。
未受領配当金の支払	三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。

(注)「特別口座」とは、株券電子化実施までに証券会社等を通じて証券保管振替機構に預託されなかった株式について、平成21年1月の株券電子化制度への移行時に、株主の権利を確保するため、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)に株主名簿上の株主名義で開設された口座です。

株式の状況(普通株式) (平成24年3月31日現在)

■ 株式の状況	発行済株式の総数	14,154,534,220 株
	株主数	758,290 名

■ 所有者別分布状況



■ 大株主

	持株数(株)	持株比率(%)
1 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	904,582,800	6.39
2 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	624,695,900	4.41
3 SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS(常任代理人 香港上海銀行東京支店)	371,872,750	2.62
4 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口 9)	271,399,400	1.91
5 日本生命保険相互会社	271,322,953	1.91
6 ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー(常任代理人 香港上海銀行東京支店)	194,890,757	1.37
7 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(明治安田生命保険相互会社・退職給付信託口)	175,000,000	1.23
8 ザ バンク オブ ニューヨーク メロン アズ デポジタリー バンク フォー デポジタリー レシート ホルダーズ(常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	171,735,947	1.21
9 トヨタ自動車株式会社	149,263,153	1.05
10 ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー(常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行決済営業部)	138,920,762	0.98
合計	3,273,684,422	23.12
発行済株式総数	14,154,534,220	100.00

- (注) 1. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
 2. ザ バンク オブ ニューヨーク メロン アズ デポジタリー バンク フォー デポジタリー レシート ホルダーズは、ADR(米国預託証券)発行のために預託された株式の名義人であります。

グループメッセージについて

Quality for You

確かなクオリティを、明日へ。世界へ。

「Quality for You」は
『質』の高いサービスの提供を通じて、
お客さま一人ひとりの生活や一社一社の事業の
『質』の向上をお手伝いしたい。
そして『You=お客さま』を基点に『You=地域・社会』の
発展にも貢献していきたい」という
私たちの姿勢を表しています。
「確かなクオリティを、明日へ。世界へ。」は
「いかなる時代にあっても『確かなクオリティ』を
お届けし、お客さまの成長・歩み・夢を、
『明日へ』、『世界へ』つなげていきたい」
という私たちの想いを表しています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1

電話03(3240)8111(代表)

URL:<http://www.mufg.jp/>

株式に関するお手続きについてご不明な点がございましたら、
以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター
電話:0120-232-711(通話料無料)
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

平成24年6月発行
本誌はFSC® 認証紙、植物油インキを使用しています。

